

平成 28 年度 神奈川県立松陽高等学校 学校目標

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒が自ら「思考・判断・表現」できる力を育成するために適切な教育課程を編成し、不断の授業改善に取り組む。</p> <p>②生徒が主体性を持って組織的に学校行事等を企画・運営することを通して、社会のリーダーとしての資質を育てる。</p>	<p>①職員のアクティブラーニング（以下AL）への理解を深め、本校の現状と課題をふまえた授業改善の推進と共通理解を形成する。</p> <p>②企画・運営を行う生徒と職員とのコミュニケーションを良好にして、効率的な行事運営を行う。</p>	<p>①ALに基づく授業展開がなぜ求められているか、その背景を含めて職員の共通理解を図り、ALに関わる校内研修会を実施する。</p> <p>②企画・運営を行う生徒と職員との「報・連・相」を徹底させ、組織的かつ効率的に行事運営を行う。</p>	<p>①ALに関わる校内研修会を実施し職員の共通理解が深まったか。</p> <p>②生徒と教員がコミュニケーションを良好にし、効率的な行事運営を行い、生徒の充実感が高まったか。</p>
2 生徒指導 ・支援	<p>①交通事故や学びの環境等に対して自ら意識し改善する態度を養う。</p> <p>②生徒の健やかな心身の育成及び社会生活を営むうえでの道徳観の深化を支える相談・支援体制の充実を図る。</p>	<p>①交通安全教育の充実を図り、自分自身で身を守る意識を高める。また、美化委員会を中心に、校舎内・外の美化に努める態度を養う。</p> <p>②より充実した相談体制・支援体制を構築する。</p>	<p>①横浜中地区交通安全高校生大会の地区幹事校として、交通安全に関する生徒の取組の活動を支援し、本校の全校生徒への周知及び啓蒙を図る。美化委員会を中心に、清掃用具の整備、ゴミの分別の徹底等、校舎内・外の美化活動を呼びかける。</p> <p>②ソーシャルスキルエデュケーション（以下SSE）のグランドデザイン化をし、今後の年間計画を立案する。</p>	<p>①自らの不注意による交通事故件数が昨年度より減少したか。ごみの分別の徹底等校舎内・外の美化に努め、学びの環境を整えることができたか。</p> <p>②SSEのグランドデザイン化をし、今後の年間計画の立案ができたか。</p>
3 進路指導 ・支援	<p>「行ける学校」「入れる学校」から「行きたい学校」「入りたい学校」を目指す体系的なキャリア教育を一層充実させるとともに、より高い目標実現を目指す気概を育てる。</p>	<p>生徒が目標とする学校の情報をできる限り収集し、生徒に適切に伝える。</p>	<p>大学側が実施する教員向け説明会等に積極的に参加し、情報収集を行う。</p> <p>予備校とも適切に連携をとりながら、最新の情報に留意し、HRや三者面談を通じて効果的に生徒に伝える。</p>	<p>大学側が実施する教員対象の説明会に積極的に参加することができたか。</p> <p>予備校と連携をとりながら、最新の情報収集につとめ、伝えた内容が生徒の自己実現に生かされたか。</p>
4 地域等との 協働	<p>地域貢献活動やボランティア活動を通じ、地域との協働を進めるなかで、地域の子どもたちのリーダーになれる資質を育てる。</p>	<p>福祉委員会、生徒会執行部が中心となってボランティア情報の全校生徒への周知と参加受け入れを行わせることで、ボランティア活動の中心としての自覚を持たせる。</p>	<p>地域貢献活動やボランティア活動を福祉委員会、生徒会執行部を中心に実施させる。また、クラスへの呼びかけを行い、一般生徒も巻き込んだ活動にする。</p>	<p>福祉委員会、生徒会執行部が地域貢献活動やボランティア活動の中心としての自覚を持ち、参加する生徒は増えたか。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>①安全管理や教育環境整備を計画的に行い、地域から信頼される学校づくりをさらに進める。</p> <p>②安全・防災に対する意識を養い、危険を予測し不測の事態に臨機応変に対応できる資質を高める。</p>	<p>①学校施設面での安全確保を目指し、安全に係る情報に関して地域・保護者との連携を図る。</p> <p>②家庭とも連携して防災対策を推進する。</p>	<p>①老朽化施設を順次更新する。危険箇所の把握を積極的に行い事故の未然防止を図る。不審者情報の共有体制を整備する。</p> <p>安全面での生徒の自己管理意識を高める。</p> <p>②東北・九州など震災の事例を教訓に防災教育を進め家庭での具体的な話し合いにつなげる。</p>	<p>①優先順位に沿って適切に更新できたか。不審者等の不測の事態に速やかに適切な対応ができたか。</p> <p>②防災・減災教育を家庭での話し合いや具体的な準備行動につなげることができたか。</p>